

6 都市計画道路の整備について

【提案・要望先】国土交通省
堺市国土強靱化地域計画取組事業

～提案・要望事項～

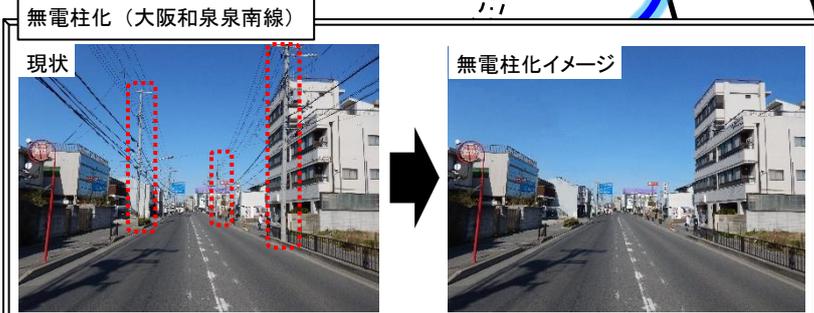
- 都市防災機能の強化や安全で快適な道路交通環境の創出を目的とした道路ネットワークの早期形成に必要な予算を十分に確保すること。

【現状と課題】

- 道路ネットワークに未整備区間が存在し、道路機能(緊急時の代替道路確保、地域振興、交通円滑化等)が十分発揮されていないため、これらを最大限に発揮するためには重要な都市基盤である道路の整備推進が必要。

◆都市計画道路 最重要路線

平常時、災害時を問わない安全かつ円滑な交通を確保するためには
基幹となる道路ネットワーク整備が必要



凡例	
自動車専用道路	— (Blue line)
緊急交通路	— (Red line)
事業中区間	— (Black line)
整備済区間	— (Thick black line)
未整備区間	— (Dashed black line)
広域避難地	● (Blue circle)
輸送基地	● (Red circle)
重要物流道路	— (Light blue line)
代替・補完路	— (Green line)

○南花田鳳西町線(金岡・白鷺地区) -本市における環状軸-

【社会資本整備重点計画に位置付け】

本路線は、都心部への通過交通を抑制するなど、本市の環状軸を形成する重要な幹線道路であり、当該道路に接して緊急交通路や広域避難地が多くあり、地震災害時の避難路、火災時の延焼防止としての役割を果たす。

○大阪河内長野線 -本市東部地域の南北幹線整備-

本路線は、大阪市から、松原市、堺市を經由して河内長野市に至る主要な幹線道路であり、地震災害時の避難路、火災時の延焼防止としての役割を果たす。また、重要な広域緊急交通路を結び、本市東部地域の防災機能の強化を図る。

○出島百舌鳥線 -世界文化遺産登録国内候補「百舌鳥・古市古墳群」へのアクセス道路-

本路線は、ユネスコの諮問機関であるイコモス（国際記念物遺跡会議）より世界文化遺産へ登録勧告が発表された「百舌鳥・古市古墳群」の中でも、最大の「仁徳天皇陵古墳」に至るアクセス道路整備及び来訪者の玄関口でもある JR 阪和線百舌鳥駅の駅前広場整備を行う。

○大阪和泉泉南線 -中心市街地を貫く幹線道路整備-

本路線は、本市の中心市街地を貫き、大阪市及び高石市に接続する幹線道路であり、重要な広域緊急交通路に指定されており、地震災害時の避難路、火災時の延焼防止としての役割を果たすとともに、本路線及び周辺道路の交通渋滞の緩和など交通処理機能の向上を図る。

○常磐浜寺線 -連続立体交差事業との一体整備-

本路線は、本市の道路ネットワークの環状軸を形成する主要な幹線道路であるとともに連立事業中である南海本線と交差しており、火災時の延焼遮断機能の強化や、津波などの災害時における円滑な避難及び輸送の確保を行うとともに、広域避難地へのアクセス向上を図る。

整備効果

【災害時】

○防災性の向上

- ・火災時の延焼遮断機能の強化や災害時の避難路機能の強化
(堺市震災に強いまちづくり基本計画に位置付け)
- ・災害時において、輸送基地や広域避難地を結ぶ道路ネットワークを形成し、緊急交通路を補完する代替路の確保として、救急・救援及び緊急物資の受入れを迅速に実施することが可能
- ・無電柱化による避難路機能の強化

【平常時】

○通学路の安全性向上

- ・安全な歩行空間の確保

○交通の円滑化

- ・物流、観光・交流（人流）ネットワークの機能強化

◆事業費及び国庫補助額

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 (見込額)
事業費【通学路・無電柱化】	1,262,225 千円	3,090,946 千円	2,876,232 千円
事業費【街路事業】	332,810 千円	510,318 千円	288,000 千円
国庫補助額【通学路・無電柱化】 (要望額)	694,042 千円 (788,700 千円)	1,700,020 千円 (1,948,502 千円)	【要望額】 【1,531,943 千円】
国庫補助額【街路事業】 (要望額)	166,405 千円 (1,598,300 千円)	255,159 千円 (930,738 千円)	【要望額】 【144,000 千円】

【本件に関する連絡先】

建設局 道路計画課長 根兵 直樹 (TEL:072-228-7423)